

事業所名

てとる尾山台

支援プログラム

作成日

7年

8月

1日

法人（事業所）理念		手を取り合って育む、やさしさとたのしさのある毎日を					
支援方針		子どもたちが「楽しい」と感じる遊びの中で、仲間と関わりながら心の豊かさや成長を支えます。遊びを通じて、自分らしさや思いやり、協力する力を自然に育める環境を大切にします。					
営業時間		13時	0分	19時	0分	送迎実施の有無	なし
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日のスケジュールをわかりやすく示し、同じ流れで活動に取り組むことで、生活のリズムを整えていきます。見通しを持って過ごせるようになると安心でき、落ち着いて行動する力や、時間を守る習慣も身につけていきます。 ・おやつ作りや掃除など、生活に必要な力を自然に身につけていきます。作業をする中で、道具の使い方や手順を考える力、清潔にする気持ちなども育ちます。こうした経験を重ねることで、自分でできることが少しずつ増えていきます。 					
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・集団あそびやサーキット、ダンスなど、身体を動かす活動に取り組めます。遊びながら体の動かし方を学び、体力をつけていきます。また、友だちと一緒に活動することで、ルールを守る力や協調する力も育ちます。 ・スライムやねんどなど、感触を楽しむあそびに取り組めます。感覚を豊かに育てながら、指先を使う練習にもなります。さらに、集中して取り組む経験を重ねることで、落ち着いて過ごす力も身につけていきます。 					
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちが「知りたい」「学びたい」という自然な好奇心を大切にしています。机に向かって覚えるだけでなく、遊びや体験を通して文字や数、色に興味関心をもてるよう活動に工夫を行います。 ・子どもたちが大人の声かけなく、準備や活動に取り組みやすいよう構造化された環境設定を行います。 					
	言語コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉だけでなく、表情やしぐさなどの非言語的なコミュニケーションからも、子どもたちの思いをくみ取る支援を大切にします。 ・スタッフや友達と一方的なコミュニケーションではなく相互でやり取りすることを意識します。伝える力と受け取る力の両方を育てることで、対人関係や社会性の基盤を養います。 ・「おかえり」「さようなら」「いただきます」などのあいさつを大切にします。あいさつを交わすことで、人とのつながりや安心感を感じられるようにします。生活の中で自然にあいさつが身につくように、スタッフがいていないに声をかけ、やり取りを楽しめる雰囲気をつくります。 ・絵本や物語の読み聞かせを行い、言葉への興味や関心を育てます。想像力を広げたり、豊かな言葉にふれる機会を大切にしながら、言語の理解や表現の力を伸ばしていきます。 					
	人間関係社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・集団での活動を通して、仲間と過ごす楽しさや安心感を体験します。子ども同士が自然に関わる機会を大切にしながら、遊びの中で自発的なやり取りを見守ります。また、必要に応じてスタッフが子ども同士をつなげる働きかけを行い、関係づくりを支援します。 ・自分の役割やできることを理解し、協力する力を育みます。活動の中で「自分にできること」を見つけて取り組む経験を重ねることで、責任感や達成感を得られるようにします。仲間と協力する楽しさを知り、集団の一員としての意識も育てていきます。 					
家族支援	<ul style="list-style-type: none"> ・障害のある子を育てた先輩お母さんや兄弟のお話を聞く会を行います。実際の経験談にふれることで、子育ての工夫や安心につながるヒントを得られます。また、保護者が前向きな気持ちを持てる機会になります。 ・保護者同士の交流を深められるよう、茶話会を開催します。気軽に話せる場をつくることで、子育ての不安や悩みを共有できます。安心して相談できる仲間づくりや、保護者同士のつながりを支えることを目的としています。 				移行支援	就労だけを見据えるのではなく、その先の人生を豊かに生きるための心の幅を広げることを大切にしています。どんな時も自分らしく、自信を持って過ごせるようサポートし、余暇の楽しみを見つけ、心を解き放てるような時間も大切にします。	

<p>地域支援・地域連携</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学校や他事業所と連携をすることで、子どもたちの支援に一貫性をもち包括的な支援が行えるようにします ・商店街を中心とした地域との交流を図ります（新聞や牛乳パック寄付などの協力、図書館や商店に訪問） ・ボランティアの受け入れを積極的に行い、相互理解を図ります 	<p>職員の質の向上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の打ち合わせで、活動の内容改善、子どもたちの情報共有をすることや、場面ごとに支援の検討、安全管理を行うことを大切にしています。 ・外部研修の案内や、多角的な視点で学べる内部研修の実施、書籍による自己研鑽を促しています。
<p>主な行事等</p>	<p>ハロウィンパーティー、クリスマス会など季節のイベント</p>		